

令和3年度 ZEH 事業計画・実績報告書



		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和7年(目標)
ZEH受託率	目標	15%	20%	30%	40%	45%	50%
	実績	0%	33%	50%	33%	100%	
NearlyZEH受託率	目標	10%	10%	10%	15%	15%	30%
	実績	0%	0%	0%	0%	0%	
ZEHシリーズ受託率の合計	目標	25%	30%	40%	55%	60%	80%
	実績	0%	33%	50%	33%	100%	
その他住宅受託率	目標	75%	70%	60%	45%	40%	20%
	実績	100%	67%	50%	67%	0%	
合計	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%	100%	100%	
ZEH事業実績率		0%	33%	50%	33%	100%	80%

具体的なZEH普及策(ZEH低コスト化への取り組み等)

弊社がZEHビルダー登録事業者であることをホームページ・住宅情報誌などで告知し、エンドユーザーに対し、ZEHの普及を呼びかけます。

ZEH基準や弊社ZEH仕様などを公表し、一般住宅との違いやメリットを説明し、今後、国のIHP+施策の浸透を図ります。

弊社が考えるコストを抑えたZEHのモデルプランを提案することにより、住宅取得者がZEHを選び易く出来るような環境を整えます。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

設計は、3次元CADを使用し、外皮計算、一次消費IHP+量計算を、社内で行うことにより、設計段階での時間短縮、人件費削減しコストダウンを図ります。

ZEHを構成する、高性能断熱材、高断熱サッシ・ガラス、高効率設備、高効率太陽光発電など、ZEHプランを標準化し、メーカー・建材商社に集中発注することによりコストダウンを図ります。

また、弊社の属する工務店ネットワークの資材ルートを活用し、共同購入をすることによりコストダウンを図ります。

その他取り組みなど

外皮の断熱性能、創エネルギーだけでなく、夏季に日射遮蔽・通風利用や暖房期に積極的な日射熱取得を行い、自然エネルギーを生かすパッシブデザインを取り入れ、住宅の更なる省エネルギー化を図ります。

高効率のヒートポンプ式熱源機と24時間換気システムを組み合わせ、床下冷暖房システムを使用することにより、床下の蓄熱性を利用した省エネで、温度差の無い、健康的な住まいを実現します。